



葵タイムス



命名：山本 一郎

No.62 2021年 秋号

令和3年11月1日 発行

ボーイスカウト和歌山連盟
発行責任者 仙石 康盛
編集：BS和歌山連盟編集委員会
E-mail：bs-wakayama@leto.eonet.ne.jp

2年連続「県連総会議案」書面表決により承認される コロナに負けず 各団の更なる前進を！

新たに2名の県連理事が選出される

5月9日（日）に予定していましたが令和3年度の県連年次総会は、今年度もコロナ禍のためやむなく中止となりました。

しかしながら各審議議案は「書面による表決」により全議案が承認され、新年度に向け力強くスタートを切ることができました。

なお、県連盟理事長及び各種委員長については6月17日の理事会で選任されました。また、連盟長については引き続き山本氏を推薦いたしました。県連役員は以下のとおりです。

令和3年度県連年次総会・議案書面表決結果

議決議員総数：29名（県連役員17名・団代表議員12名）

議案第1号	令和2年度事業報告	承認 29名
議案第2号	// 決算及び会計監査報告	承認 29名
議案第3号	理事の選出承認	承認 29名
議案第4号	理事長・副理事長の選出	承認 29名
議案第5号	令和3年度事業計画（案）	承認 29名
議案第6号	令和3年度収支予算（案）	承認 29名

※議案の全ては賛成により可決承認されました※

和歌山連盟役員名簿（2021年度～2022年度）

役 職	氏 名	役 職	氏 名
連 盟 長	山本 一郎	顧 問	北畑 耕作
参 与	平野 一夫	先 達	榊 史郎
理 事 長	仙石 康盛	副理事長	矢田 嘉秀
理 事	* 阪井 和生	理 事	平井 孝朗
理 事	* 楠本 章朗	理 事	草田 英嗣
理 事	阪井 信也	県コミッショナー	中谷 新治
副コミッショナー	伊藤 眞輝	副コミッショナー	加藤 隆也
ディレクター	西田 昌弘	副コミッショナー	藤田 弘治
監 事	荻野 昭裕	監 事	松岡 脩平
名誉会議議員	畔柳 勝	名誉会議議員	森本 英明
事 務 局 長	奥田 雅晴	*印は新任理事です（敬称略）	

【県連各種運営委員長名簿】

本年度も
よろしくお祈いします

- 総務委員長：平井 孝朗
 - プログラム委員長：藤田 弘治*
 - 指導者養成委員長：阪井 信也
 - イベント委員長：阪井 和生*
 - 国際委員長：草田 英嗣
 - 財政委員長：奥田 雅晴
 - セーフ・フロム・ハーム委員長 加藤 隆也
- (注)氏名末尾に*印の方は新任です



イベント委員長
阪井 和生

この度、和歌山連盟理事を拝命し、併せて県連イベント委員長にも任命頂きました。和歌山地区協議会では10数年イベント委員長を務めておりますが、県連盟行事となると果たして務まるのかと不安もあります。承った以上、皆さま方のお力をお借りして微力ではありますが精一杯努めさせていただきます所存です。ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



紀南地区理事
楠本 章郎

この度、和歌山連盟の理事となりました楠本です。紀南地区代表理事は御坊・田辺・新宮が2年交替で務めており、新宮代表の後を受けてお鉢が回ってきた次第です。田辺近辺のことについてはある程度わかりますが、県連のことについては全くわからないというのが正直なところです。先輩方の脚を引っ張ることのないように頑張りますので、ご指導よろしくお祈いします。

～県連各委員会活動報告～

【プログラム委員会】

目指せ「富士章」を！

プログラム委員長 藤田 弘治

今年度より「県連プログラム委員長」を務めます藤田です。どうかよろしくお願ひします。

スカウト活動の根幹は「進歩・進級制度」です。指導者の皆様方は、各年代のスカウト達が普段の活動の中で、進歩・進級に意欲を持つようなプログラムを考え、指導・援助と激励を心がけるようにお願ひします。

最終的には富士章を目指すスカウトが数多く出てくることを願って、私自身も最大限の努力をいたします。



令和2年度「進歩進級」取得者一覧表 (R2.4.1~R3.3.31)

	団名	氏名	学年	交付日
菊章	海草1団	出口 眞行	高2	2020/6/17
	団名	氏名	学年	交付日
野営章	和歌山18団	植木 健介	高3	2020/4/16
	和歌山18団	島本 嶺	中2	2020/12/10
茶道章	和歌山18団	植木 健介	高3	2020/4/16
	和歌山18団	植木 優斗	高1	2020/4/16
	和歌山18団	福本紳之介	高3	2020/8/9
武道・武術章	和歌山18団	植木 優斗	高1	2020/4/14
スカウトソング章	和歌山21団	横山 柊	中3	2020/10/1
ハイキング章	和歌山21団	横山 柊	中3	2020/10/1
通訳章	和歌山18団	植木 健介	高3	2020/4/16
電気章	和歌山18団	植木 健介	高3	2020/4/16
	和歌山18団	上野山 義人	中2	2020/5/19
	和歌山18団	島本 嶺	中2	2020/5/19
リーダーシップ章	和歌山18団	植木 健介	高3	2020/4/28
無線通信章	和歌山18団	上野山 義人	中2	2020/6/1

【指導者養成委員会】

カブスカウト課程第173期を履修して

海草第1団 吉本 哲也

令和3年7月22日～25日（3泊4日）で、和歌山市立青少年国際交流センターに於いて、日本連盟主催「ウッドバッジ実修所CS課程第173期」が開催されました。

実修所の内容は第一教程の事前課題研修を、県連盟中谷副リーダートレーナーのご指導の下に、「リモート会議」で行っていただきました。

第二教程（3泊4日）は、川口主任所員から「スカウティングを通してどの様な青少年を育てるのか」から始まり、参加者が2班に分かれてスカウトや保護者団関係、地域の要望事項をまとめてプログラム委員会

を設定し、自団の現状から探り出し解決法を見いだしていき、実際に年間プログラム～隊集会を計画・作成し、1班は指導者・2班はスカウト役に設定し交互に隊集会を行い評価反省をしてカブ隊の運営を実習しました。但しこの実修所はこれで終わるのではなく、第三教程で自団の「隊」で実習し、評価・反省を行い日連に報告しなければ終了となりませんので、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

最後に、この実修所を開設頂いた奥久英祐所長を始め日本連盟・和歌山連盟の運営スタッフの皆さまに御礼申し上げます。



第30回ボーイスカウト講習会 主任講師 西田 昌弘



令和3年6月6日、橋本市産業文化会館で第30回ボーイスカウト講習会を開催しました。今回は、ローバースカウトに興味をもった大学生7名を含め、指導者、保護者あわせて16名で、開会までのチーフリング作りでは、各グループの中で互いに教え合い、初めて顔を合わせたとは思えない和やかな雰囲気での講習会でした。

この講習会では、体験を交えて、ボーイスカウト活動の内容を知っていただき、活動の原理、基本的な方法などについて学んでいただきました。参加者の皆さんが、少しでも理解を深めていただけるよう、スタッフのほうもわかりやすい説明を心がけています。

ボーイスカウト講習会への参加を各団で広く「PR」いただき、1人でも多くの参加をお願いします。



【総務委員会】 「スカウト募集」母親に響くポイント

県連総務委員長 平井 孝朗

日本連盟が推奨しているアピールポイントをまとめてみました。各団での「スカウト募集」の参考にしてください。

① 「仲間」・・・家庭でも、学校でもない仲間と居場所がある。

子供の頃から長くボーイスカウトの活動することによって、生涯付き合っていくことの出来る友人が出来やすいです。

② 「自然」・・・野外活動を通じて「生きる力」を身につける。

自然の中で活動し、日常生活では得られない体験を通じ手、子供が自分自身で成長していきます。また、防災力も強くなります。

③ 「挑戦」・・・困難なことでもあきらめないでやり遂げる力を身に付ける。

家庭では体験できない、年代に応じたダイナミックなボーイスカウトのプログラムがあり、仲間と共に考えながら工夫し、失敗しながら遅くなります。

④ 「多様性」・・・ボーイスカウトの雑多さがスカウトを遅くする。

他の学校、異年齢の仲間がおり、人間関係に深みが出ます。指導者も年齢や職業は様々で、多様な価値観を持ったリーダーがバラエティーに富んだプログラムを展開しています。



皆で考えようスカウトができるSDGs!



SCOUTS for SDGs



君たちは、知っていますか？「セーフ・フロム・ハーム」のこと

紙面の都合で小さくなっていますが、日本連盟のホームページに掲載されています。

一度ぜひ見てください。ビーバーやカブのスカウトには隊長さんの方から話してあげてください。

大切なことは、思いやりです

《セーフ・フロム・ハーム委員会》

セーフ・フロム・ハームってどんな意味？

隊長！セーフ・フロム・ハームってどんな意味ですか？

直接すると「safe」=安全「from」=から「harm」=危害つなげると「あらゆる危害から守られた安全」という意味だよ。

「ちかい」と「おきて」は、私たちにとって、大切で、すばらしい心がけだよ。セーフ・フロム・ハームでは、それと一緒に「人を思いやる」ことが大切だと思っているんだ。

ぼくたちは「ちかい」と「おきて」を守って活動をしてるけどそれはセーフ・フロム・ハームとは違うんですか？

「ちかい」と「おきて」を守って活動をしてるけどそれはセーフ・フロム・ハームとは違うんですか？

君たちの学校でも「いじめ」があったりするよね。

だから「ちかい」と「おきて」と一緒に人として大切なこと「思いやり」を考えて、皆が笑顔で活動できるようにセーフ・フロム・ハームの取り組みを行っているんだよ。

隊長、わたしたちはセーフ・フロム・ハームのためにこれからどんなことに気をつけたらいいでしょうか？

だれにでも思いやりの心をもちます！仲間と協力して考え行動します！

自分自身とまわりの人々をあらゆるハーム/harm(危害)から守ることを学び「より安全で安心な活動」をすること。それが「セーフ・フロム・ハーム」なんだよ。

1989年の国連総会で採択された「子どもの権利条約」の

- ・生きる権利
- ・守られる権利
- ・育つ権利
- ・参加する権利

それをもとにして世界スカウト機構(WOSM)が、2002年から取り組んでいるものなんだ。

自分自身とまわりの人々をあらゆるハーム/harm(危害)から守ることを学び「より安全で安心な活動」をすること。それが「セーフ・フロム・ハーム」なんだよ。

「セーフ・フロム・ハーム」にどのように取り組むかをまとめてみよう！

思いやりとは、優しさ
思いやりとは、他人の立場になって考える心
思いやりとは、他人を大事にする心

これが「セーフ・フロム・ハーム」の心構えですね！

隊長、教えてくださいありがとうございます！

うん！どちらもとてもいいと思うよ！

「セーフ・フロム・ハーム」に「ハーム」に直面したとき、何ができるかな？

自分自身とまわりの人々をあらゆるハーム/harm(危害)から守ることを学び「より安全で安心な活動」をすること。それが「セーフ・フロム・ハーム」なんだよ。

あらゆる危害ってどんなことですか？

いじめ、身体的虐待、性的虐待、搾取(児童労働、薬物、盗竊)、心理的虐待、ネグレクト(無視、放置)

これらを危害(ハーム)と言うんだよ。

これ全部と向かい合っとうてもむずかしそうですね…。



和歌山
県連の
ために

県連財政委員会からのお知らせとお願い

日本連盟特別維持会員拡大にご協力ください。

標記維持会員の年会費は、個人1万円・特別法人会員10万円です。頂いた皆さまのご厚志は、日本のスカウト運動を支えています。しかも、振り込まれた日本連盟への維持会費の約90%が(県連へ要請額を超えた分の)和歌山連盟に指導者養成補助金としてバックされています。

昨年度の実績で言いますと1,142,000円。実に県連登録費の1.6倍にのぼります。言わば、県連運営予算の大黒柱となっており、財政面で当連盟運営には欠くことの出来ないものです。高齢少子化の進む現状では、県連登録費は先行きが心配です。

是非このことをご理解頂き、現会員は継続を。新たな個人会員並びに法人会員の獲得に皆さまのお力添えをお願い致します。尚、失礼とは存じますが、「現会員で未納の方」に、後日県連財政委員会より振込用紙を送付させて頂きますのでよろしく願います。(行き違いの段ご容赦ください)

※新規にご協力頂ける方は：財政委員長 奥田 雅晴までご一報ください
(携帯 090-8655-6930)

Scouting Never Stops!



【和歌山地区協議】

《和歌山第14団》

8月16日～18日の2泊3日の予定で白浜町向平キャンプ場を予約しておりましたが、長雨の影響で日高川が増水し、警報も出ておりましたので急遽中止をしました。

代替え案として、河西コミセンで「ロープ結び」講習と工作。昼食は調理室でカレー作り。

夕方に場所を移し、個人の大きな家屋で庭にタープを張り、夕食はバーベキュー。畳の部屋に寝袋を居間にはテントを張り1泊しました。

急場しのぎの1泊2日でしたが、スカウトの友達も参加し楽しんでおりました。

参加者はCS・BS各1名、指導者6名、友達の保護者1名でした。



《和歌山第18団・カブ隊》

9月25日、紀の川市打田で農業をされている方のご協力を得て、稲刈り体験をさせていただきました。

鎌の使い方を教えてもらい、まず草や藁で練習した後、1人ずつ稲刈りをしました。最初は緊張してぎこちない感じでしたが、だんだん上手に刈れるようになりました。

刈った稲は2週間「天日干し」をした後、10月9日、紀北青少年の家で脱穀・粳すり・精米にも昔ながらの方法で挑戦しました。苦戦しながらも初めての体験にみんなワクワク。

時間が足りず全部を精米することはできませんでしたが、お米を食べられるまでの大変さとありがたさを実感しました。

みんなで「おにぎり」を作って美味しくいただきました。出来た藁は12月にしめ縄にする予定です。（記・原崎 美浩）



BS 隊のスカウト 2 名
JOTI 体験会に参加
9月12日 JOTI 体験会
に上野山スカウトと島本
スカウトが参加し、外国
語バッチの面接を受け、
推薦書を頂きました。

《和歌山第21団》

コロナを吹っ飛ばす団キャンプ

去年は、コロナ蔓延予防のためやむを得ず中止した団キャンプでしたが、団内で検討を重ね予防対策を講じた上で、BS・VS隊が8月6日から2泊3日。BVS・CS・RS隊は7日から合流し8日まで、1泊2日で紀北青少年の家で実施しました。

今回の団キャンプは、野外でやろうと言うことでBS・VS隊が泊まっているキャンプ村での活動をメインにし、ボーイやベンチャースカウトが中心となり、「ビーバーやカブが、どのようにしたら喜んでくれるか」とプログラムを考え、ローバースカウトも一緒に盛り上げていました。

全員でのフィールドサーチでは、2チーム同点で豪華賞品がもらえなかったり、キャンプファイヤーでは、火の女神を伴った神様が喜んで出てきたり、テント設営体験やゲームの後の「ナカナカ割れないスイカ割り」などの交流プログラムで親睦を深めました。

また、VS・BSは自作シャワールームやサウナテントで大いに盛り上がり、マグカップの工作などビーバーから大人まで、夏の良い思い出になったと思います。

快晴の青空とコロナ渦を吹き飛ばすスカウト達の笑顔が何より印象に残ったキャンプになりました。

(記・団委員長 矢田 嘉秀)

和歌山
第22団

和歌山22団では、9月12日(日)に「スカウトの日」の活動として、雑賀崎漁港周辺の美化活動を行いました。雑賀崎漁港は魚が良く釣れる海釣りスポットで、多くの人が訪れます。そのため、釣り糸やえさが入っていたプラスチック袋・空き缶・ペットボトルなどのゴミが道端のそこかしこに見うけられました。

この日はあいにく天気が悪く小雨が降っていましたが、それにもめげず、スカウトたちは軍手を泥だらけにしてゴミ拾いを行いました。こうした私たちの活動で、漁港を少しでもきれいにすることが出来れば、SDGsの14番目の目標である「海の豊さを守る」ことへつながるのではないかと思います。そして、これからもずっと、みんなが楽しめる海釣りスポットとして繁栄してくれたらいいなと思いました。

SCOUTS for SDGs



《海草第1団》

「カントリー作戦」と「ビーバーリモート隊集会」

今年の夏の活動は、和歌山県でコロナ感染が拡大し、特に若年層の拡大が顕著で、夏の活動は全て中止し、スカウト達の思い出は何もない結果になりました。

しかし「カントリー大作戦」は感染状況を見ながら、9月26日（日）の午前中だけで実施。参加者はスカウト26名・指導者21名・一般参加3名総勢50名でした。受付時にマスクの着用・体温測定健康確認・手消毒等の感染防止対策をとった上で、河西公園と駐車場周辺の清掃奉仕を行いました。

結果は、空き缶82個・ペットボトル86本・ナ

イロン袋やタバコの吸い殻等のゴミを拾いました。

スカウトの感想は、「公園に来た時はそんなにゴミは無いと思ったけど、みんなで拾うと結構あったね！」と驚いていました。

また、ビーバー隊は夏の舎営が無ったため、夏休みの思い出を「保護者LINE」で募集したところ、スカウト6名で『木の葉章』が52枚も出ました。内容は「おうちの周りで動・植物探し」「動・植物の飼育」「お家DEキャンプ」「家事手伝い」「海山遊び」等盛り沢山で、当日(26日)表彰式を行って『BV Sリモート隊集会』は大成功に終わりました。

(記・赤居 憲)



《海南第1団》

自由研究:「カメレオン焼きそば?」と「ロープワーク」

カブ隊長 山口 万実

当団も残念ながらコロナ禍で殆ど活動が出来ていませんが、夏に一度、自由研究に使えることを考えてやってみました。『色が変わる不思議なカメレオン焼きそば』と、『ロープワーク』です。

わいわい食事して、と言うことも出来ず、午後からの活動で「実験という形での焼きそば作り」に挑戦。

●紫キャベツを切り炒めてから、中華麺を入れると、緑色の焼きそばに変身。緑の焼きそばにレモン汁をかけると今度はピンク色に。どうして色が変わるのかな?自分たちで調べてくるようにしました。

●ロープワークの方は、どれにしようか悩みながらも大苦戦!しかし、ロープ結びが出来たときは、達成感でとびきりの笑顔でした。

初めての電動ドリルも上手に鳴り、良い体験が出来ましたよ・・・もっと色々な体験出来るよう、早く通常の活動が出来ることを願っています。



《和歌山第24団》

「和歌山大学ローバースカウト隊の現状」

和歌山第24団は、今年新一年生、2年生を迎え入れ、総勢31人の団になりました。人数も増え、これからたくさん楽しい活動をしていこうと計画していた矢先に緊急事態宣言が発令され、夏の企画のほとんどが延期・中止になっていきました。

夏の楽しい企画を目指して計画してきただけに、とてもショックでした。メンバー揃って初めての企画が多数だったため、しっかりした交流もできていません。

そんな中、メンバーのモチベーションを保つために行っていたのが、月2回のオンライン会議です。1、2年生が中心に参加してくれ、緊急事態宣言明けの活動再開を夢みて企画を出し合いました。しかしそれも叶いませんでした。やはり、実際の活動をしないと実績も残せず、やりがいがないと思いました。

10月からは野外をメインに感染対策を十分にとって活動に取り組んでいこうと考えております。10月は楽しみながら大学生らしいスカウティングをしていこうと思います！

議長 宮本 佳奈



《伊都第3団》

紀北&紀南
地区協議会手作りの「ポッチャ」と
「モルック」で楽しめました。

2021年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される年です。

伊都第3団では、それにちなんだ活動を何かしようとして話し合いました。その結果パラリンピックの競技の一つ、『ポッチャ』をすることにしました。しかも、道具を皆で一から手作りし、遊んでみることにしました。加えて、『モルック』という競技も体験したいという声が上がったので、これも一緒に手作りしました。

ポッチャは、砂とビニール袋とビニールテープで作り上げ、モルックは、園芸用の木杭を利用し1セットずつ手分けして作りました。

2競技とも、初めてでも直ぐにルールを理解でき、何度やっても夢中で楽しめる素晴らしいスポーツでした。

指導者が本気で対戦してもいい勝負になってしまう、そんなスポーツを皆さんもぜひ体験してみてください。



写真は、

- ① モルック作り
- ② モルック競技
- ③ ポッチャ競技



《那賀第2団》

カブ隊の夏キャンプ

那賀第2団のカブ隊の夏キャンプを紹介します。8月21・22日で高野山にある「大滝山の学校」でキャンプを行いました。指導者3名・保護者3名スカウト5名の総勢11名です。

今回の目玉は、「ソーセージ作り」と「ドラム缶風呂」です。まずはソーセージ作り。キャンプ本番を前に私の方で2度ほど練習しました。コツは「具材を温めない」ことです。本番では、スカウトには「手早く作業」「具材を冷やす」ことを心掛けさせました。出来上がりは上々で、夕飯の

「おかず」のはずが、味見で無くなりそうになりました。

次にドラム缶風呂です。団委員さんをお願いして、ドラム缶風呂を作ってもらい、指導者で塗装しました。本来ならスカウトにペンキで絵を描かせたりしたかったのですが、時間がなく断念しました。子供たちの反応は、お湯が沸く前から並んだり、何度も入ったりと、思いのほか人気がありました・・・。

スカウトには「いい夏の思い出」が出来たと喜



《那賀第4団》

「スカウトの日」

BS隊長 櫻葉研二

令和3年9月12日に『スカウトの日』を以前から気になっていた場所で行いました。それは竹房橋の下です。キャンプ場ではありませんが、週末になるとキャンパーやバーベキューをする人が大勢、集まっています。昨今のアウトドアブームでここ数年は混雑するほどの人気で、それと共に、心無いキャンパーのゴミが目立つようになりました。この竹房橋の下は、ボーイスカウト活動でよくお世話になっている場所なので、「スカウトの日」に清掃しようと決めました。

当日は悪天候の雨の中、河原にてBS隊とVS隊のスカウトが、リーダー・団委員さんと共に清掃しました。缶・ビン・ペットボトル以外にも網、生ゴミ等もあり小1時間で軽トラックに満載となりました。

スカウトにとって美化運動は奉仕の精神を培うとともに、自分たちの河川を元の姿に戻すことの大変さを学びました。



「集まる楽しさ」を改めて感じる 1年

《橋本第2団》

コロナの終息を念頭に組み立てた年間プログラムも、次々とする「感染拡大の波」により、変更に変更が重なる私たち橋本第2団です。しかしそんな中でも「集会」に対するニーズは依然高く、指導陣としては、屋外での活動を中心にした「ウィズコロナ」のプログラム展開に苦心しているところです。

恒例の団キャンプの中止やスカウトの日の延期など、団全体が一堂に会する機会はまだまだ難しいですが、各隊に於いては変わらず活動を続けています。

そんな中でのビーバー隊とカブ隊の活動をご紹介します。

ビーバー隊

もはや工作の域を超え、「秘密基地作り」にチャレンジしました。手にするのは糊とハサミではなくノコギリとインパクト！自分たちで組み上げ、思い思いのデコレーションを施した「移動型基地」の完成です。まさに「成人の支援」を受けながらではありますが、大人顔負けのペインティングや工具使用体験など、巢ごもりでは出来ない貴重な体験となりました。スカウト達は、中に設けられたハンモックやぶら下がっても大丈夫なつくり大喜び、スカウトだけではなく保護者・指導者も一緒に楽しみました。



カブ隊

「身近な秘境」を求め、なんと団ハウスの真横を流れる橋本川を遡上する「リポートレッキング」をおこないました。上流は深みや荒々しさがあり、スカウト達にとってハイアドベンチャーなプログラムであったが、ゴールに辿り着いたことを皆で喜び合い、思いきり水遊びを楽しみました。

仲間と一緒に「身近な自然に直接触れて「リスクを肌で感じ」「ひとつの目的を皆で達成する」・・・只の物見遊山ではありません。スカウト達にとって、この体験を通じて得られたものは、大きかったのではないかと思います。



伊都第1団・伊都第5団 夏期合同隊キャンプ

2021年8月22日～24日・奈良県天川村/BS 隊・RS 隊

弘法大師が高野山の開山に先立って3年間修行した大峰山の登頂と、弘法大師にまつわる遺品が奉納されていて、最大の行場であった天川神社を参拝することです。天河神社の正式名は「天川大辯財天社」と言い、パワースポットでもあり芸能の神様としても有名なので、多くの芸能人も訪れています。

コロナ禍での活動となりますので、「あまのかわキャンプ場」を借り切り、他人との接触を出来る限り避けました。設営終了と同時に2時間の豪雨となり、テントは浸水となりました。

大峰山の登頂前に心身を清めるため、朝の6時半に水行・滝行を水温8度の中、般若心経を一巻唱えました。水の冷たさや滝の厳しさ、その衝撃は想像を絶するものでした。そんな状況で只一心に精神統一することで、自身の弱い心と向き合い、気合を入れることで強い心を手に入れ、自然と一体化し、更に苦行を乗り越えたという達成感を手に入れることを目的とします。

最大の難所「鎖場」は雨のため滑るので、ひとり一人が慎重に登りました。雨のため予定していた「西の覗」は経験できなかったのが残念でした。山頂の一等三角点にタッチし予定より1時間遅れて下山しました。

提出した登山記録を修正して報告。その後、洞川温泉に入り、体の疲れをとってキャンプ場にもどりました。夕食は「山賊料理」を食べ、満腹感と疲れからか全員が早く眠りにつきました。

伊都第5団 ローバースカウト隊 三島 葵



頑張りました。

《田辺第1団》

今春、ビバースカウト 9名も誕生しました!!

今春、ビバー年齢を対象として、田辺市内全小学校1年生に市教育委員会を通じ、また主に旧市内の保育所・幼稚園の年長組に「募集パンフレット」を配り、手作りポスターも掲示しました。

当初は、2~3名は期待していたものの、9名もの入団があり驚きました。小西ビバー隊長も喜んでくれました。「やりがいがある」と「潮岬青少年の家」での隊集会や毎月の隊集会にも力が入っています。



《新宮第2団》

スカウトの日

スカウトの日の活動として、熊野川の河口を清掃しました。カブ隊とベンチャー隊は隊員の予定が合わず参加できませんでした。

小雨降る中、ボーイ隊3名と指導者で実施しました。河川敷に流れ着いたゴミの中には、レジ袋が有料化された今でも、ビニール系のゴミ類が多く、これらが海に流れ着くと、環境汚染の原因となってしまいます。

全国の河川の数を見ると恐ろしい量のゴミが海に流れ出て、魚や色んな生きものたちに悪影響を及ぼしているのかと思うと恐ろしくなります。ゴミを捨てることも大切ですが、ゴミの出ない工夫や河川にゴミを捨てる人を増やさない工夫をしなければ、このままでは、海だけでなく地球上がゴミの山になってしまう気がしました。

現在、熊野川の河口では三重県とつながる河口大橋が建設中で、工事見学もしました。スカウト達には普段余り目にする事のない現場や土木技術や重機に興味津々。熱心に観察をしていました。将来この子達の中から日本を背負って立つような技術者が生まれるといいですね・・・。



紀北地区協議会主催

「オープン・スカウティング」

2021年10月17日／紀北青少年の家

地区委員長 平井 孝朗

10月17日紀北青少年の家に於いてボーイスカウト紀北地区協議会主催の「オープン・スカウティング」と題して保護者を対象とした指導者養成研修会をコロナ対策も万全にして開催いたしました。これは各団のリーダーの育成とスカウトの上進を上位目的に、またBSスカウトの「格好いい姿」を見せることも下位目的に本年度地区のメイン行事として、地区6個団全体で取り組みました。

- 小さな子ども預かりプログラムも用意し、参加者と奉仕者で100名近くの参加をいただきました。内容は、保護者に「ボーイの隊集会」を体験して頂くことです。午前中は班集会。サイト設営と野外炊事を3班に分かれて体験いただきました。
- 各班にはスカウトが上班として配属され、培ったスキルを披露して体験者（保護者）に指導します。班ごとのサイトにテント、タープが美しく設営されました。野外炊事ではメスティンの「鮭の炊き込みご飯」です。メスティンのシーズニングから始まり、班ごとに和気あいの雰囲気調理し、美味しく炊き上がり、昆布茶のスープも絶品でした。メスティンは参加記念品として持ち帰り、奉仕者にはゴーゴーカレーを振る舞いました。
- 午後からは伊藤地区コミッショナーが隊長となり、模擬隊集会を実施。スカウトが国旗掲揚で凛々しい姿を披露しました。その後は、技能章考査をもした3つのゲームを展開しました。旗揚げ考査では、スカウトがロープワークの手本を見せ、重量当てや伝言ゲーム体験しました。閉会式では、優秀班に賞品として「赤い宝石・柿」を授与しました。参加された保護者の中から多くのリーダーが生まれるのを楽しみにしています。